



# 安全・健康ニュース

第33号  
2014年/6月

府中市寿町3-2ふれあい会館2F/TEL042-366-2322

## 自分でできる「安全」を、いま一度考えてください

### 安全委員長 澤村 一男

毎年、事故ゼロを目標に会員の皆様に様々な活動を展開してきましたが、25年度のシルバ

ー保険対象事故の集計で、傷害事故発生件数は9件(就業中5件、就業経路途上4件)、24年度は10件で1件減少。

賠償事故発生件数は7件、24年度は2件で3.5倍と大幅な増加、事故は全く減少していません。

更には、一寸した小さな怪我など、保険対象とならない事故もあるかもしれません。

府中市シルバー人材センターの4月末日現在の会員数は1719名、実に1%近い会員が事故を起こしている状況です。

今号の「安全・健康ニュース」の最終ページに、25年度に発生した事故の概要が記載されています。

これらの事故は、当事者が少し注意すれば防ぐことができただのではないのでしょうか、他人事と思わず「明日は我が身に」という気持ちで是非熟読してください。

事故は、誰にでもどんな時でも起こります。

たとえば、就業経路途上の自転車利用時や歩行時では

○道路のわずかな窪み、わずかな段差にバランスを崩しやすくなります。

○雨や雪が降れば路面等が滑

り易くなります。  
○夕方や夜は見えづらくなりません。

○早朝の道路等は空いています。  
○強い風は、自転車をいくら漕いでも前に進みません。

そのような現象は誰でも経験してわかっています。

でも、事故を起こしてしまします。何故でしょうか？

加齢に伴い視力や聴力、筋力などの身体機能の低下と共に、反射能力の衰え、歩行速度も遅くなり、とっさの危険を避ける行動が確実に遅くなっているのです。

個人差はあるにしても、悔しいですが認めましょう。  
日頃から十分な注意と余裕を持つて、行動してください。

ひとたび事故を起こせば、本人は勿論、家族、周りの人に迷惑をかけ、賠償の責任を負ったりします。

僅かな油断で、自らが大きな負担を負いかねません。  
自分でできる「安全」を、もう一度考えてください。

また、これから暑い季節が到来し、熱中症や、蜂・茶毒蛾等の虫刺されのような傷害事故に注意してください。

#### 熱中症の予防ポイント

○十分な睡眠と体調に気を配る

○水分をこまめに補給・大量に汗をかく場合は塩分補給を忘れずに。

○バランスのとれた食事を摂る。  
○室内では風通しを良くして室温を下げる。

等、体調管理、体力維持に努め、暑い夏を乗り越えて下さい。

今年もあらゆる機会を通じ、会員の皆様が安全に就業していただくために、啓蒙、啓発を図ってまいります。

平成26年5月24日(土)、小学生・高齢者自転車競技大会が開催されました。

センターから12チーム12名が参加し、全11チーム中、センターAチームが4位入賞、Bチームが6位入賞となりました。

参加された皆様、お疲れさまでした。



## 安全委員 中野常紀

慣れた道

慣れた仕事にひそむ事故

気のゆるみ

心のゆるみが事故のもと

口ほどに

達者じゃないよ、足と腰

お互いに

声掛けあつて安全作業

気を抜くな

なれと油断が事故の元

気を抜くな

いくら慣れても高齢者

つもり・はず・

たぶん・だろうが 事故のもと

危ないと思う

心が身を守る

慣れるほど

初心に返れその仕事

聞き流す

注意事項に事故宿る

決まりごと

守れる人は 怪我はなし

安全は

心のゆとりと重ねる注意

安全は焦らず

省かず気を抜かず

慣れる程

基本を守り正確に

安全は

心と現場の整理から

ある月刊誌において毎月このような標語が掲載されていますが、「安全」という同じテーマであつても、こんなにも表現の違いがあるということを知り、今回は発行元に許可をいただき転載してみました。如何でしょうか。

私は安全委員会に入つて11ヶ月の新人ですが、毎月配付されるメール便の中に、色々な形で「安全」の文字が目に入ります。

そんな中、25年度の事故の件数を見ると、24年度に比べて大きく増加しています。

毎月20日は安全の日で、私達安全委員による安全パトロールを行います。が、どの様なやり方が効果的なのでしょう。

シルバーの職種は多岐にわたり、職場毎に気を付けるべき内容が違います。

また、会員の自主性や自立を基本とするところも一般企業とは違います。

シルバー人材センターの理念「自主・自立、協働・共助」のもとで安全就業を推進していくという考え方は説明が難しいのですが、自分自身や仲間同士での安全管理が重要だと言えると思います。

## シルバー安全標語をどこで存知ですか？



# 新任安全委員をご紹介します。

## 「安全就業」

### 桜井正幸

桜の季節も終わり、五月(さつき)も過ぎ、健康の状態が変化しやすい時期になりました。健康には十分気を付けて就業しましょう。

ところで、私はシルバー人材センターに平成15年7月に入会し、もう10年以上が過ぎました。

その当時は自転車整理に配属され、先輩達と一緒に朝早くから1台1台、台車に乗せ駐輪場まで運んでいました。

朝が早いために近隣の皆さんにも大変ご迷惑をお掛けしたと思いますし、通勤通学時間帯と重なるために放置自転車を駐輪場へ運ぶのも安全第一を意識していました。

最近、多磨駅周辺の駐輪場は東側・西側両方とも有料になり、私達は放置自転車のみ取扱いになりました。

放置禁止区域を廻るための一部の狭い道路では、自動車・自転車が特に最近多くなり、前後左右の安全を細心の注意で確認しながら行動していかなければ、「注意一秒怪我一生」

という事態になりかねません。

また、事故が起きないために、安全就業の一環としても「環境美化」に今後も取り組んで行きたいと思えます。

これからも地域住民の皆さんのご協力を頂き、シルバー人材センターの一員として勤めて行きたいと思えます。

最後に私の好きな言葉を挙げておきます。

自ら活動して他を動かすは水也

## 新任安全委員自己紹介

### 安全委員 清水一雄

昭和17年府中で生まれ、今日まで来ました。

今年の5月で72歳となります。

会社を定年後1年半ほど気ままに過ごして来ましたが、ある人のお世話でセンター会員になり、植木脚立運搬班にて就業する事になり、早五年も過ぎました。

現在9名の仲間と日々楽しく働き、共に喜びを感じている毎日です。

この度、安全委員としてお手伝いさせていただきます。

安全に対してまだ無知ではありませんが、勉強させていただきます。

### 安全委員 富田誠

はじめまして。

府中で生まれ、一時期川崎に20年程住みましたが、平成12年に、再び緑多い府中市寿町に移り住みました。

建設業の土木会社に38年勤めて退職後、平成21年6月にセンターに入会いたしました。

現在、機械草刈班に所属して4年目になります。

仕事柄、草刈機を使用する為、回転物による災害に注意し、また、河川敷の作業がほとんどで夏場の熱中症に掛からないように対策して作業に従事しております。

今後、安全の行事、パトロール等でお会いすると思えますので、よろしくお願いたします。



# 平成25年度事故発生状況

## 傷害事故

事故発生日時	傷害の内容	事故の概要	作業内容	再発の防止策
5月6日 15時頃 就業中	打撲	エンジン付きゴーカートに左足をひかれ打撲した。	遊戯施設管理	混雑時等には危険予知が遅れがちです。いつでも危険が避けられるように、周囲の状況を常に確認するようにしましょう。
5月27日 16時頃 就業経路上	交通事故	自転車で帰宅途中、交差点で一時停止無視のオートバイと接触転倒。腕・足打撲、腰圧迫骨折	自転車撤去	こちらに非はありませんが、交通ルールやマナーを守らない運転者がいることを心に留め、あらかじめ備えておくことで事故に遭う確率を減らすことができます。
7月9日 20時頃 就業中	その他	文化センター管理業務の巡回中、施錠されていない窓を施錠しようとした時に開閉アームが故障しており、手で押さえながら施錠しようとして右手人差し指を挟んだ。	施設管理	故障などの原因により普段と作業手順が異なる場合などは、より慎重に作業をして下さい。故障などの設備の不具合箇所については、改善の依頼を早めに出しましょう。
7月15日 6時頃 就業経路上	転倒	経路上中に躓いたため転倒し、右手首を骨折。全治2か月。	配膳	いつもの慣れた作業であっても油断せず、足元や周囲の状況の一つ一つ確認しながら進みましょう。また、加齢による身体能力の低下を自覚することも大事です。
8月19日 11時頃 就業中	その他	手持ち鋏での作業中、鋏で右手小指を切ってしまった。止血に時間がかかったため、その後具合が悪くなり救急車で搬送された。	除草	慣れた作業であっても油断せず、周囲の状況の一つ一つ確認しながら進めましょう。また、出血時には傷口やその付近の血管を圧迫するなどして、速やかに止血をしましょう。
9月1日 9時頃 就業中	熱中症	郷土の森駐車場管理業務就業中、熱中症と思われる症状により救急車で搬送された。	駐車場管理	熱中症にならないために、水分補給をこまめに行いましょう。また、栄養バランスを考えた食事や十分な睡眠など、平日頃の備えも怠らないようにしましょう。
11月29日 16時頃 就業中	転倒	清掃作業中、車止めに躓き顔面から転倒した。鼻骨骨折・歯がずれた。	一般家庭清掃	いつもの慣れた作業であっても油断せず、足元や周囲の状況の一つ一つ確認しながら進めましょう。また、加齢による身体能力の低下を自覚することも大事です。
12月18日 10時頃 就業中	落下	植木剪定作業で脚立から降りる時、二段目からバランスを崩し落下した。左腰・右肘・肋骨を骨折した。	植木	脚立での作業には危険が伴います。ヘルメット・安全ベルトや脚立の固定など、用具を正しく使用し、その上で周囲や足元の確認もしっかりしましょう。
2月4日 7時頃 就業経路上	転倒	学童交通擁護の作業に徒歩で向かう途中、道路で転倒した。	学童交通擁護	自分が思っているよりも足が上がらないなど、加齢による身体機能の低下があることを意識しましょう。日々の体調管理も重要です。
2月10日 7時頃 就業経路上	転倒	経路上中の歩道で凍結した残雪に足を滑らせ転倒、右ヒジを骨折した。	屋外清掃	降雪中・降雪後は、歩行が困難になります。足元の確認をいつも以上に慎重に行い、決して無理をしないようにしましょう。

## 賠償事故

事故発生日時	賠償の内容	事故の概要	作業内容	再発の防止策
4月17日 16時頃 就業中	フェンス修理	樹木伐採作業中、ロープ操作を誤り切り落した枝がフェンスを破損した。	植木剪定	適切な手順で作業を行ってください。慣れた作業であっても、一つひとつ確認することが大事です。
5月16日 11時頃 就業中	インターホン交換	マンション清掃作業中、インターホンカバーを拭き掃除した時、カバーがはずれ落下し破損した。	マンション共有部分清掃	清掃する対象物には、常に破損の危険があることを頭に入れて作業してください。明らかに壊れそうな状態の物については、発注者等に逐一確認をしてもらうことも必要です。
5月25日 16時頃 就業中	給湯器修理	トリマーを使用して低木の刈込作業を行ったところ、植込み内に給湯機の電源コードがあり切断してしまった。	植木剪定	周囲の状況の確認・作業前の養生等、事前準備の不足が原因です。また、機械の取り扱いも慎重に行いましょう。
7月3日 9時頃 就業中	車両破損	草刈作業で養生をしないまま作業し、刈払い機の飛び石により車両後方のガラス及びボディを破損した。	機械草刈	周囲の状況の確認・作業前の養生等、事前準備の不足が原因です。また、機械の取り扱いも慎重に行いましょう。
9月27日 15時頃 就業中	雨樋破損	雨樋に絡まった藁を無理矢理引き剥がそうとして、雨樋のジョイント部分を破損した。	除草	周囲の状況の確認・作業前の養生等、事前準備の不足が原因です。また、機械の取り扱いも慎重に行いましょう。
11月20日 時間不明 就業中	ガラス破損	草刈作業を実施し、後日居住者からガラス破損の連絡を受けた。破損の状況から見て肩掛刈機使用の際の飛び石によるものと断定。	機械草刈	周囲の状況の確認・作業前の養生等、事前準備の不足が原因です。また、機械の取り扱いも慎重に行いましょう。
3月14日 12時頃 就業中	車両破損	植木剪定作業で発注者宅駐車場の車両を切落した枝等で傷つけない為、就業会員が持っていたシートをかぶせ作業を行ったが、シートに付いていた輪金具でボディを傷つけた。	植木剪定	養生をする意識は良いのですが、結果の予測を慎重に行ってください。

